

双葉郡8町村各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌

ふたばの教育 ۷01.7 2017 春号



地域の人とかかわりながら学ぶ 子どもたちを各校がレポート!

ふるさと創造学2016

イベント報告: 第3回双葉郡ふるさと創造学サミット

双葉郡の小中高生が集った日



ふれあい つながり うまれる 学び

「ふるさと創造学」2016

8町村の学校が、地域を題材にともに取り組む探究的な学習の総称です

双葉郡8町村の学校は、それぞれの個性を生かしつ つ、町村や世代の垣根を越えてつながって、子どもたちの 学びの場を広げています。それを支えているのが"さまざ まな人とのつながり"です。地域の人と関わったり、学校 同士で交流したり。この1年の取組と子どもたちのようす を、各校からのレポートでお届けします。

2017年3月をもって、浪江高校、浪江 高校津島校、双葉高校、双葉翔陽高 校、富岡高校は休校となります。

福島

四 富岡高校 (福島北サテライト)

富岡高校(猪苗代サテライト) ふたば未来学園高校(猪苗代校舎) 合

2017年4月

楢葉町で再開予定

__△、会津若松

熊町・大野小学校、大熊中学校 🖺

隣町にあった双葉中学校と 大熊中学校の距離は、約5 キロから140キロ以上に。

FUTARA

双葉郡の各町村は各地で学校を運営しています

- ・帰還し教育活動を実施 5校
- ・避難先で教育活動を実施 24校
- 休業中 6校

浪江高校 津島校 浪江・津島小学校 浪江中学校

🖺 葛尾小学校、葛尾中学校 🍱

富岡第一・第二小学校 P10 富岡第一・第二中学校

💹 川内小学校、川内中学校 🕾

広野 P13 広野小学校、広野中学校 🖺

2015年4月に開校。

富岡養護学校 🖺

ふたば未来学園高校 🖺

楢葉南・楢葉北小学校、楢葉中学校 🕾

双葉高校、 双葉翔陽高校 🖺

▼ 双葉南・双葉北小学校、双葉中学校 『 □

※富岡高校(三島長陵高校サテライト)、ふたば未来学園高校 (三島長陵校舎) は、静岡県三島市で開校中

※浪江町立幾世橋小学校、請戸小学校、大堀小学校、苅野小学校、 浪江東中学校、津島中学校は休業中

高屋小学校

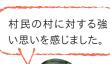
田村郡三春町大字熊耳字八ツ田213

村役場や村民、除染情報プラザの協 力を得て、震災後、初めて6年生児童 3人が村にある幼稚園と小学校に入 り、その様子を取材しました。



震災当時の親の思いを 知れてよかったです。







放射線に対する 正しい知識を得る ことができました。

▼毎年交流している佐賀県·神埼小学校の皆さん の前で「語り部」として発表を行いました

葛尾村の語り部になろう



▲震災当時の村長さん、教育長さんに、震災時の様 子やこれからの葛尾小学校についてインタビューしま



名前が残っていました



▲除染情報プラザの方から放射線につ いて学びました

問 葛尾中学校 田村郡三春町大字熊耳字八ツ田213

今年度のテーマは「人とのつながりを 通しふるさとの復興を考える」。アトラ ンタ修学旅行を経て、将来の生き方 やふるさとについて考えました。

▶ホームステ イ先へのお土 産は、手作り コースター。表 に日本の文化 に英語で説明 をつけました





▲南北戦争の英雄が彫られてあるストーンマウン テンの前で、剣道を披露しました



言葉や文化の違いの中で様々な人と 交流し、互いに心が通じ合う喜びを 感じることができました。また、ホーム ステイではホスピタリティーを肌で感 じ、心温まる交流を経験しました。



▲アトランタでキング牧師の公民権運動を学 習し、偏見や差別をなくすにはどうすれば良い かを、生徒と先生が一緒に考えました

人とのつながりから ~ change myself ~

◀映画「風と共に去りぬ」のプレミア上映会 が行われたホテルで



▲ホームステイ先のファミリーに温かく迎え てもらいました



▲文化祭では、アメリカと日本の文化の違い や人とのつながりの大切さを発表

江

町

浪江町と二本松市の「食」や「伝統文 化」について学習してきました。3・4 年生は「わたしの町の"食"じまん」、 5.6年生は「歴史と文化をさぐろう」 をテーマに学習を進めました。



学びの成果を展示する 学校は私たちの博物館!

校舎を「まるごとふるさとなみえ博物館」と とらえ、学びの成果を展示しています。常に 「ふるさとなみえ科」の学習状況が見渡せる ような学習環境づくりを進めています。



紅葉汁では鮭を1本丸ごと使ったよ!



▲地域の方に習った、浪江の「紅葉汁」と二本松の 「ざくざく」づくり





大堀相馬焼と二本松の家具 づくりを体験したよ。



▲"本物"の「ひと・もの・こと」との出 会いを大切に

冷 浪江高校

浪江の十日市祭で学校紹介を展示し たり、浪江からの避難者が住む仮設 住宅を訪れ、「クリスマス演奏会」を開 催したりしました。



▲トーンチャイムでクリスマスソングを演奏



▲本宮高校合唱部のご協力で、とても充実した内容に



わたしたちのふるさとへ

訪問演奏会は、休校前最後の

交流ということで、今できること

をやりきろうと思って臨みまし

た。何より皆さんの笑顔が見ら

思いを込めて

れてよかったです。



▲レクリエーションでは一緒に体を動かしました ▲最後に自治会長さんと記念撮影



▲十日市祭にブース出展。行事の 紹介や生徒制作のムービー上映を 行いました

休校まであと少しの時間と

心豊かな生徒の

育成を目指して

問 浪江中学校 二本松市針道堤崎25

江

町

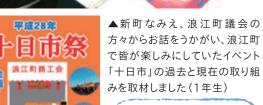
1年生「ふるさとを知る」、2年生「ふる さとについて学ぶ」、3年生「ふるさと に活かす」をテーマに、それぞれが発



Road to SUMMIT

復興のために頑張っている 人たちへの取材を通し、自分 たちの体験を残したいと思う ようになりました。(3年生)





1月19日(土)~20日(日)

で皆が楽しみにしていたイベント 「十日市」の過去と現在の取り組

> 自分たちでオリジナルのポ スターを作ってみました!



▲震災直後の浪江中学校を舞台に、先輩や自分たちの体 験や思いを紙芝居にしました

◀▶職場体験の経 験を元に、浪江町 でこれからできる 提案を自分たちな りに考え、町役場 しました(2年生)



| 冷 浪江高校津島校|

県主催の「モラル・エッセイ」コンテス トで、2年連続優秀賞を受賞。日々の 道徳教育で、人に優しく思いやりあ る、豊かな心を育んでいます。





師に招き行った「命をい ただく講演会」。風評被 害の中で取り組むブラン ド化など、新たな挑戦に ついてもお話しいただき



▲歴史探究学習では、長野県の上田城へ。津島 校でなければ味わえない貴重な体験がたくさん



per in Education) 活動。福島県川柳大賞 で「青少年奨励賞」を 受賞するなど、言葉で 表現する力も身につい ています

◀新聞を教材として活



◀東京・京王プラザホ テルで実施したテーブ ルマナー講習会。都庁 の展望台に上ったり、 制服が珍しいという外 国人に英語で話しかけ られたり、素敵な思い 出ができました

用するNIE (Newspa-

町

高 双葉南·双葉北小学校

活動の始まりは、幼稚園の時に訪れ た「双葉ばら園」の記憶。町の人に元 気と感謝を伝えたいと、自分たちでバ ラの花を育てプレゼントしました。

ふるさと創造学サミットで は、自分たちのふるさとの 良さを伝えることができ、 同時にほかの町の良さも 知ることができ、達成感を 得ることができました。



▲双葉町の交流施設「ひだまり」でいつも交流しているお年寄りの方に。いわき市 で再開した「ふたば茶亭」の真柄さんに。お世話になったお礼のバラを手渡しました

▶お世話になっ た方や交流して いる方々に配り たいと思い、高 学年でバラの花 を栽培しました





つなげよう、ありがとうの花で



▲「双葉ばら園」の園主だった岡田さんに、開園に至るまで や賑わっていたバラ園のようす、これまでの思いをお聞きし ました



▲ふるさと創造学サミット参加前に、校内発表会を実施。 高学年の発表を見て、他の学年の児童も「双葉ばら園」に ついて知ることができました。中学生との合同発表会では、 中学生からアドバイスももらいました

| 四 双葉高校|

休校を前に、「双高のつどい」での発 表や同窓生や県内外の高校生等さま ざまな交流を通じ、「双葉高校ここに あり」をアピールしてきました。



▲「復活双高」をテーマに11月、「双高のつどい」 を開催。在校生は、震災後の学校の状況と復活へ ▲サテライト校になってからずっと交流を続けてき に基づいて発表しました



◀ 元ラジオ福島のア ナウンサー大和田新 さんが在校生の思い 歩み固かれ目は遠く を取材にいらっしゃ いました。全生徒の インタビューがラジオ で放送されました



「復活双高」に向けて、

▲休校後も校歌·応援歌をCDにして残す ため、同窓生たちと一緒に収録。72歳の 大先輩もいました

先輩も後輩もいない一年間でした が、多方面の方々と交流を図ること ができ、かけがえのない経験がで きました。(双葉高校生徒一同)



の想いを、同窓生のアンケートと自分たちの考え た埼玉県・山村国際高校の文化祭に参加。今年 は岡山南高校と立命館高校も来校しました



【12月の「福 島県高等学校 総合文化祭活 動優秀校公演」 で、休校になる5 校の校歌を斉唱



四 双葉中学校

今年度は、1・2年生が震災後の双葉 町民とシリア難民の共通点について、 3年生は自分の生き方について発表 しました。



▲3年生の校内ポスターセッションの様子です



プレゼンを作ったり、 人前で説明したりする のはあまり得意では なかったのですが、や り終えてみると少しだ け自信がつきました。

「シリアについて知ってますか?」「今私の考えること」



▲これまで総合で学んできたことをまとめま



います



▲発表に向けて、国際協力分野で活躍する講 師を介し、シリアの子供たちと交流したことにつ いて話し合いました



▲シリアと双葉の共通点についてまとめて ▲ビデオメッセージを作るために、インターネッ ト翻訳でアラビア語に翻訳しています

『 双葉翔陽高校

平成29年3月末の休校を前に大熊 町や双葉郡とのつながりを大切にし、 本校の役割を果たしていきたいと思 います。



双葉翔陽高として 何ができ、何を残 し、そして次につな がるものは何か。 (双葉翔陽高校 教頭 志賀健彦)



▲東日本大震災以来、同じ「翔陽」という校名の縁で熊本県立翔陽高校からさまざまな支援 をいただきました。11月には交流会を開き、互いの地域の現状や将来について話し合いました





▲平成28年4月の熊本地震の際は本校 生徒会が募金活動を実施

◀10月大熊町いわき出張所で開催され た「大熊町ふるさとまつり」に出店。野菜と 花の販売を行い、多くの町民の方々にお 買い上げいただきました



陽に向かひて、翔ぶが如く



▲両校生で「震災を糧に一日一日を大切にし、笑顔で 生きていく」「感謝の気持ちを忘れず、絆を大切にして 生きていく」ことなどをうたった「翔陽の絆若者の宣 誓」を作りました。これを記念し広野町に桜の木を植樹



高 **熊町・大野小学校**

自分たちの身の周りで困っていること に目を向け"問題"を見つけ、なぜそ の"テーマ"を設定したのかを大切に しました。

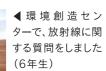


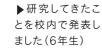
テーマを設定 (3年生)



▲老人福祉施設「サンライト大熊」を訪問し、 認知症予防のレクリエーションを行いました (4年生)

"追求"の段階では、町教育委員 会の重点としても取り組んでいる 「読書活動」を生かし、図書館を 活用し的確に情報を集めました。





大熊町のために 自分たちができること



▲元大熊町立図書館司書の方へ、電話 でインタビュー(5年生)



凸 大熊中学校 会津若松市一箕町大字八幡字門田9-2

今年度は「大熊町の復興・再生・創生 のために、私たちにできること」をテー マとし、一人一研究を行ってきました。

▼一季成りいちごの水耕栽培について、金山町「奥会 津彩の里」でお話をうかがいました(3年生)



来年は別の視点から テーマを考え、研究を 深めたい。(2年男子)

▶除染効果が期 待されるEM菌に ついて学びました (2年生)



▲町を復興させるためのお話を、会津若 松市七日町通りまちなみ協議会の方に お聞きしました(1年生)



▲町の特産品を使ったクッキーのパッケー ジデザインについて会津短大高橋先生に ご相談(3年生)



ふるさと大熊町のために 私たちにできること

早く研究に取りかかり、発表の仕方も 他校を参考に工夫したい。(1年男子)





▲文化祭で、それぞれが研究成果を発 表しました。タブレットを使った1年生、落 ち着きある2年生、堂々とこれまでの集 大成を発表した3年生

門 川内小学校

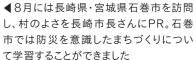
村イベントへの参加、長崎県・宮城県 の被災地訪問やそこでのPR活動、村 長さんとの対談を通し、村の未来につ いて一人ひとり考えました。



▲4月の「かわうちの郷かえるマラソン」では、 大会スタッフとしてメダル配りや給水のお手伝い



▲5月の運動会ではポスターや防災無線で直 接PR。400人以上の参加者を集めました



▶10月には川内秋祭りで特産物販売の お手伝い。村の人のあたたかさを感じるこ とができました



川内村の未来を考える ~復興子ども教室~

村の未来について、自分なりに考 えることができました。これからも 村の未来について考えて行動し ていきたいです。(6年生一同)



▲6月には長崎大学のみなさんに川 内村のいいところをバスツアーで伝え ました



ふるさと川内で、

頑張っています!

みんな仲良く元気に

| 門内中学校|

今年は、職場体験学習や海外教育交 流学習を通して様々な人びととふれ 合い、それぞれの人びとの思いや生き

▼海外教育交流で訪問した、アトランタの 中学校にて





アトランタでたくさんのことを学び、素晴 らしい思い出ができました。浦安の舞を 披露したとき喜んでくださって、とっても 嬉しかったです。別れるときはホストファ ミリーの子が泣いてくれて、私も別れが 悲しかったです。機会があったらまた会 いたいです。(2年生女子)





世話になりました

方について学びます。

▼現地で「浦安の舞」を披露。盛大な拍



町

高 富岡第一・第二小学校 田村郡三春町大字熊耳字南原94

4年生は福祉をテーマに共に生きる 社会について、6年生は富岡で仕事 をしている人びととの関わりのなかで 学んできました。



▲4年に手話を教えてくださった齋藤秀雄さん



りと交流(4年生)



手話ができなくて もかまいません。い かに相手に伝えよ うとするかという気 持ちが一番大切な

▲点字が施された商品 のパッケージをさわって、 ユニバーサルデザインを 体験(4年生)

> 未来の富岡町にど うなっていてほしい



についてうかがいました(6年生)

人に学び ともに生きる

一時帰宅したら、生きていないと 思ったブルドックが自分で子どもを 産んで温めていた。それを見て、お じさんは大声で泣いたんだ。



▲「富岡町がまた動物を飼えるまちになれ ば」。原発事故で取り残された動物の保護に も取り組む、獣医の渡辺正道さん。仕事にか ける思いを聞きました(6年生)



てきたのか、どんな苦労があったのか。富岡 ▶サポートセンター花見処さくらで地域のお年寄 ▲富岡町消防団の皆さんに、地域を守る仕事 町をパトロールする双葉警察署ウルトラ警察 隊の方々にインタビュー(6年)

~「学び」を発信するために~

これまでに私たちを支えてくださった 方々への感謝を表すため、ふるさと創 造学サミットをはじめ、様々なイベント

私たちの母校 富高の活躍

サミットではオープニングを担当し、緊 張したけど本当楽しかったです。参加し て良い刺激を受けました。これからも双 葉地区のよさを伝えていきたいです。





▲ふるさと創造学サ ミットでは、富高を多く の人たちに知ってもら いたいと思い、一枚の ポスターにまとめまし

◀また、当日は司会を 務め会場を盛り上げる ように工夫しました

高 富岡第一・第二中学校 田村郡三春町大字熊耳字南原94

アウトプットを意識した学びの総決算 として「あけぼのきらきらニュース」を お届けしました。総合的な学習の時 間の学びが一歩前進です。



▲1年生のテーマは「ふるさとを桜でつなぐ」。 中郷小学校と交流し、桜を種から育てます







3年生を中心にオール富岡で取り 組んだふるさと創造学サミット。エ 夫いっぱい、笑顔いっぱい、元気



▲2年生のテーマは「富岡町の思い出の場所と 町民の思い」。インタビュー活動後、まとめ方につ いて、熱心な討論が続きました



◀▲3年生のテーマは「ふるさとをつなぐ」。全員 が個人課題を設定し、まとめ方と発信の仕方を見 据えて、学習に取り組みました

| 高岡養護学校| いわき市平馬目字馬目崎61

▲▼男子サッカー部選手権県大会、女子サッカー

に参加しています。

で戦い抜きました

一人ひとりの進路実現に向け、地域 の企業や事業所と連携したデュアル システム学習として職業体験を実施

県立四倉高校内) に移転します



社会の一員として、 たくましく生きる力と 豊かな心を

▼商品の前出し作業を担当しまし た。買い物にいらしたお客さんから、「す ごく綺麗に並べているね」「頑張って ね」などの言葉をかけていただきました



▲実際に企業や事業所で働くことで、働く喜びやあいさつ、返 事などの大切さを実感できた学習でした





考え、買い物をし

やすいように、商

品を丁寧に並べる 仕事をしました。



町

□ 楢葉南·楢葉北小学校

低学年はお年寄りと交流、中学年は 地域の特産物や施設等を調べ、高学 年は地域とともに歩む自分について 考えました。



天神太鼓を学び、以前楢 葉町で習っていたことを思 ハ出しなつかしく感じまし た。学習をするたびに、楢 葉町のことが詳しくわかり どんどん好きになりまし た。(6年・奥山優愛さん)

ふるさとに浸り、 ふるさとを知り、 地域とともに学ぶ "ならはっこ"



▲まちづくり団体「ナラノハ」が地域の方々と作成した「ならはのうた」。 プロのダンサーに振付をしていただき、全校で踊りました



▲町のお年寄りに昔遊びを教わり

▲町の特産品・施設を調べて

発表(3年生)



▲再開した木戸川の簗場を見 ▲楢葉名物「マミーすいとん」 学(4年生)



天神太鼓」(6年生)

づくりに挑戦(5年生)



ました(1・2年生)

町

問 楢葉中学校 いわき市中央台飯野5-6-1

1年生は楢葉の復興に係る「ひと・も の・こと」の調べ学習、3年生は楢葉 未来予想図の提案、ならは天神太鼓 を伝承しました。



今回サミットに参加して、 改めてたくさんの方々がそ れぞれの町に対する想い を持って活動していること、 震災の日、みんなが同じ想 いだったことを知りました。 (1年・荒井嶺良さん)

仮設校舎最後の1年 すべての人に 感謝と愛を

その自由を行使してきて



▲ふるさと創造学サミットでナラノハダンス披露(1年生)



▶調ベ学習で木戸 川の簗場を見学(1

▲文化祭で「ならは 天神太鼓」を披露し



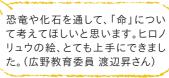
▲自分とまちのこれからを予想する「10年カレンダー」発表

哈 広野小学校

3年生の学習で残った「恐竜のマン ホール」のなぞをスタートに、町で見 つかった化石、町の地形、自然につい て、4年生のみんなで調べました。



▲これは、町民体育館近くの 化石です





化石が語る ぼくたちへの思い

▲「背中の模様はどんなかな?」町で化石が見つかったヒロノ リュウの姿を想像して、実物大の絵を描きました



▲4年生29名による作品です

凸 広野中学校

▲本物の化石(アンモナイト)をさわっ て、びっくり ▶どうやって、まとめよう?

総合的な学習の時間で町の映像記 録を制作。取材を通してあらためて郷 土の歴史や現状、そして未来を考える ことができました。



▲班ごとに取材内容の打ち合わせ

🎮 ふたば未来学園高校

1年生はフィールドワークを通し見つめ た地域を題材に演劇制作、2年生は地

域課題の解決のために、世界に視野

を広げながら探究活動をしています。



町の復興に対する 思いを取材し、映画 にしました。復興へ

の意識、特に「広野

町のために」という

方を教えていただきました

映像教育プロジェクト「いいな広野」

ちの町への思い が伝わり、映像 の素晴らしさに 感心しました。 (上映会参加者)



撮影まで準備が 必要で、大変で した。広野駅に ついて自分の祖 父から話しを聞 けたことは良い 思い出になりま した。(K.S君)

▲映像制作のプロの方から機材の使い 始。多くの地元企業、町民の方に 協力いただきました

高校生の視点で考えた 地域のいまと未来

◀テーマごとに班に分かれて行 う2年生の「未来創造探究」。原 子力防災探究班は風評被害等 の解決策を立案しました



取材をもとに、演劇の台 本を悩み抜いて作りま す。平田オリザ先生にも ご指導いただきました。

◆地域の企業や役場を訪 問し、演劇の題材を見つ けるために取材しました











ふるさと ふたばの学び



2016年12月3日(土) in ビッグパレットふくしま

サミットは、双葉郡全小中高の子どもたちが集 まり、「ふるさと創造学」で学んだことを互いに伝 えあう場として年1回開催しています。今年は保 護者、地域の方を含め約700人が参加しました。

町村ごとに設けたブースで、ポスターや映像に よるプレゼンテーション、劇やダンス、クイズなど を通じ、自分たちの取組や考えを多くの参加者に 伝えた子どもたち。互いにブースを訪れ、他の人 の考えを聞いたり意見を伝えあったり、町村や学 年の枠を越え、それぞれが新たな発見や気づき を得た1日でした。





(上)「あなたのアイデアを聞かせてください!」参加者との意見交換も貴重な経 験。(下) 今年はインタビューを取り入れたりクイズや投票を行ったりと、双方向の やりとりが生まれるよう工夫が随所に





にも興味津々



オープニングは富岡高校生が楽しく盛り上 げてくれました!



(上)気付いたことや思ったことを書いて。(下)自分た 昼食休憩のレクリエーション。小学生はみんなで盆踊り ちが本気で考え取り組んできたからこそ、他校の発表 (上)、中高生は8町村中学校生徒会が企画したゲー ムで交流(下)





泡 浪江町



館」の元気な子ども学芸員



オリジナル紙芝居





「まるごとふるさとなみえ博物 自分たちの体験をもとにした、 7か月に渡る取材活動の成果を 村の人口を増やす秘策? 葛尾村の「語り部」として発表 中学生ならではのアイデアを

みんな違って みんないい!∕

各校個性あふれる取組を、さ まざまな方法で表現しました

📨 双葉町



双葉ばら園の花に込めた 同じように故郷を離れて暮らす 思いをつなぐ歌を歌いました



シリア難民と交流して



大熊町

たちにできることを発表 町を題材にしたカルタも好評!

広野町

まちの課題について、自分 研究の成果をもとに意見交換。





福祉・仕事をテーマに、地域のニュース形式で個人研究の 人の心意気にふれました

成果をレポート

歴代先輩の活躍と実績など、

誇れる母校を紹介



川内村

村のイベントでも大活躍の 海外教育交流でも披露した、 6年生が1人ずつ考え発表 村の伝統芸能・浦安の舞

全校生で踊った「ならはのうた」 中学生はパフォーマンスも を、参加者も一緒に



キマってます!



町で発掘された化石に さわれるよ!



広野を舞台に製作した 映画を上映しました



地域の人々の思いを 感じながら劇を演じました

2016:12.3 in ビッグパレットなしな。 第3回ふるさと創造学サミットで 双葉郡の小中高生 265人が集った日

他の学校のセッションに参加し 「こんなことをやっているんだ~」 「すごい!」など、たくさん感想を 持つことができました(小6)

双葉郡の学校の交流はとてもいい と思った。他校がどのようにふるさ とを考えているのか知れてよかった (由2)

サミットに参加したらいつも思 うのは、違う学校の人たちと友 達になれて嬉しいです(小6)

他のまちのセッションを見て、自分のま ちにも取り入れたくなりました。またこ のような機会を開いていただけたらい いのではないかと思いました(小6)

知らないことが多 くて驚いた(中3)

小学生から高校生ま で、たくさんの人がいろ いろな発表をしていてと ても楽しかった(中1)

双葉郡の学校がたくさんあると いうことが分かりました(小6)

サミットに参加して今まで知らな かったことを知ったり、知ってい たけれどもっと深く調べてみたり して、本当にいままでで一番やり 切ったと思いました(小6)

小・中学生の発想 には驚きました。と てもいい刺激をも らいました(高2)

ふるさと創造学 サミット 伝えあい、つながって、広がる

発表で緊張して手汗か いていたけど、うまくいっ てよかったです。意見の 理由がちゃんと言えた のでよかった(中1)

意外と楽し かった(中2)

他の町の小学校の人も、インタ ビューした大人の人も、みんな自分 のふるさとの町が大切というのが分 かって、離れたところに避難していて も、やっぱり自分のふるさとを大切に 思っていることを学びました(小6)

他校の人たちとふれ あう楽しさについてよ く知れました(中3)

来年のサミットでも友達 に会いたいです(小2)

他の小・中学校や大人の人と の意見交換ができて、いいも のを得ることができました。い ろいろな人の意見・考えは、自 分たちにはないものだったり しておもしろかったです(中2)

とても素晴らしい考え、盛 り上がる案をたくさん見 ました。後輩に教えて参 考にさせたいです(中3)

1 MOVIE



上の写真をこのアプリで読み取ると <u>関連する動画をスマートフォン</u> タブレットで見ることができます!

①COCOAR2アプリをダウンロード▶ ②COCOAR2アプリを起動

③ \ MOVIE /マークの写真にかざします

右のQRコードを読み込むか、

「ココアル2」で検索してください ·iPhone, iPad: 「App Store」

· Android: 「Google Play」



↓ 誌面への感想・意見をぜひお寄せください /

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地 福島大学人間発達文化学類支援室内

電話:024-504-2886 / FAX:024-548-3181

Eメール: futabaeduc@fcs.ed.jp

http://futaba-educ.net/ (双葉郡教育復興ビジョン) 検索

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

浪江町教育委員会 **2**0243-62-0301 葛尾村教育委員会 **2**0240-29-2170 双葉町教育委員会 ... **2**0246-84-5210 大熊町教育委員会 **2**0242-26-3844 富岡町教育委員会 **2**0120-33-6466 **2**0240-38-3805 川内村教育委員会 楢葉町教育委員会 **2**0240-23-6190 **2**0240-27-4166 広野町教育委員会

「ふたばの教育」は、双葉郡各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌です。 8町村教育委員会を中心に構成する「双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

ふたばの教育 vol.7(2017春号) 2017年3月1日発行 | 発行:福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 | 編集:広報誌編集委員会(委員長: 富岡町立富岡第一中学校長 阿部洋己) | 執筆・写真(P3-13):双葉郡内各校 | 撮影(P14-16):フィリップ・ジェリーマン(双葉町外国語指導助手)、 アンソニー・バラード(双葉町外国語指導助手) | 映像編集:門馬徳夫(浪江町立浪江中学校教諭) | デザイン・制作:青柳徹 | 協力:中尾友子